

平成 30 年 10 月吉日

## 和歌山県立医科大学・リハビリテーション医学における研究へのご協力をお願い

前略

今年はこれまでにない暑さと台風被害に見舞われましたが健康でいらっしやると祈念しています。これまでも当科の研究にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、お電話でご説明致しましたように、「頸髄損傷者の安静・運動時における循環・体液調節に関わる末梢性機能の検討」に関する研究の被験者をお願いしたくこの手紙をお送りする次第です。

我々のこれまでの研究により、頸髄損傷者(頸損者)が積極的な運動・スポーツを行えば、健康な生活が送れるようになり、日常生活における動作が改善することが明らかになっております。頸損者では血液を循環させ、体液を維持させるための調節に関わる“交感神経活動”が障害されているため、運動時であっても、血中カテコルアミン(アドレナリンなど)が上昇しません。ところが、頸損者に日常的に負荷をかけて運動を行っていただくことが、生理学的に問題がないのか、また、どのくらいの運動負荷が効果的であるのが全くわかっておりません。そこで我々は、本研究において、1) 運動時にも血中カテコルアミンが上昇しない頸損者に、それらを補充した時の安静・運動時応答を観察し、その生理学的意義を明らかにし、2)これを急性期の頸損者のリハビリテーションプログラム改善、及び、パラリンピック選手の競技力向上に向けてのトレーニングプログラム改善に役立てたいと考えます。

皆様には大変お忙しいところご面倒とご迷惑をおかけすることと存じますが、ご協力をいただけましたら幸甚です。

草々

松下隆義、上條義一郎、田島 文博

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1

090-1463-4822(上條携帯) ; [yoshikmj@gmail.com](mailto:yoshikmj@gmail.com) (上條 E メール)